

事 業 報 告

平成 25 年(2013 年)1 月 1 日から 12 月 31 日まで

公益社団法人日本プロサッカーリーグ

[目 次]

1 当法人の現況に関する事項

- (1) 事業の経過及びその成果
- (2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況
- (3) 主要な事業内容
- (4) 主たる事務所の状況
- (5) 重要な契約に関する事項
- (6) 会員に関する事項
- (7) 職員に関する事項
- (8) 役員会等に関する事項
- (9) 株式保有の概要
- (10) 対処すべき課題

2 役員等に関する事項

- (1) 理事
- (2) 監事
- (3) 退任した役員等

附属明細書

1 当法人の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

(単位:百万円)

正味財産期末残高(事業別)	予算額	決算額	差異
公益目的事業会計	▲ 649	▲ 744	▲ 95
収益事業等会計	収益事業	▲ 38	▲ 105
	共益事業	75	128
小計	37	23	▲ 14
法人会計	2,365	2,351	▲ 14
合計	1,753	1,631	▲ 122

* 百万円未満は四捨五入。端数調整せず

〔公益目的事業〕

当法人は、リーグ全体の発展を目指して放送権やパートナーシップ契約をリーグで一括管理し、放送権料や協賛金を一定のルールに基づきクラブに配分すると同時に、以下の活動を主体的に推進した。

① プロサッカー試合の主催

J1リーグ戦 全306試合、J2リーグ戦 全462試合、リーグカップ戦、J1昇格プレーオフ、J2・JFL入れ替え戦、第93回 天皇杯全日本サッカー選手権大会、東日本大震災復興支援 2013 Jリーグスペシャルマッチ等を開催した。

② 公式記録の作成、管理及び運用

公式試合、公式行事の記録や映像・静止画像の作成・収録、保管、管理及び販売ならびに選手肖像権等の管理を行った。

③ プロサッカー選手、監督及び審判員等の養成、資格認定及び登録

④ プロサッカーの試合の用具の認定

⑤ 放送等を通じたプロサッカーの試合の広報普及

⑥ サッカー及びサッカーテクnikに関する調査、研究及び指導

⑦ クラブライセンス制度の運用

⑧ J3リーグ設立準備

⑨ プロサッカー選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施

⑩ サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施

⑪ サッカーをはじめとするスポーツの振興及び援助

⑫ その他目的を達成するために必要な事業

プロサッカーに関するパートナー、スポンサー及びサプライヤーとのリレーションシップ構築、Jリーグ20周年記念事業、東日本大震災復興支援活動、などを実施した。

〔収益事業等〕

① 収益事業(商品化事業)

プロサッカーに関する商標等の登録、管理及びそれらを使用した商品の制作販売を実施した。

② 共益事業(表彰事業)

12月10日(火)、J. LEAGUE AWARDSを開催し、リーグ戦成績及びリーグカップ戦成績等に対する表彰を行った。

(2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(単位:百万円)

	平成22年度 2010年度 (自 平成22年 4月1日 至 平成23年3 月31日)	平成23年度 2011年度 (自 平成23年 4月1日 至 平成23年 12月31日)	平成24年度 2012年度 (自 平成24年 1月1日 至 平成24年3 月31日)	平成24年度 2012年度 (自 平成24年 4月1日 至 平成24年 12月31日)	平成25年度 2013年度 (自 平成25年 1月1日 至 平成25年 12月31日)
当期経常増減額	48	230	66	▲ 186	▲ 385
当期一般正味財産増減額	▲ 2	208	66	▲ 186	▲ 291
当期指定正味財産増減額	0	0	0	10	10
正味財産期末残高	1,815	2,023	2,089	1,912	1,631

*1 百万円未満は四捨五入。端数調整せず

*2 平成23年度は決算期変更により、平成24年度は同年4月の公益法人化により変則決算となった

(3) 主要な事業内容

事業	主要な事業の内容
公益目的事業	日本サッカーの水準の向上及びサッカーの普及を図ることにより、国民に対して豊かなスポーツ文化の振興と心身の健全な発達に寄与し、国際社会における交流及び親善に貢献する事業 (1)公式試合安定運営事業 (2)選手育成アカデミー事業 (3)人材育成事業 (4)百年構想事業 (5)クラブライセンス事業
収益事業	商品化事業
共益事業	表彰事業

(4) 主たる事務所の状況

名称	所在地	事業内容など
公益社団法人日本プロサッカーリーグ	東京都文京区本郷三丁目10番15号	プロサッカーを通じて日本のサッカーの水準の向上及びサッカーの普及を図ることにより、豊かなスポーツ文化の振興及び国民の心身の健全な発達に寄与とともに、国際社会における交流及び親善に貢献する。

(5) 重要な契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約期間	契約の概要
2013年1月1日	(株)博報堂DYメディアパートナーズ	2013年1月1日～ 12月31日	Jリーグパートナー対象商品の販売権に関する契約
2013年1月1日	(株)朝日新聞社、(株)電通	2013年1月1日～ 12月31日	Jリーグ百年構想パートナーに関する契約
2013年5月24日	カンボジア・ナショナルリーグ	-	パートナーシップ契約*
2013年6月5日	シンガポール・Sリーグ	-	パートナーシップ契約*

*海外リーグとのパートナーシップ契約は期間の定めはない。

(6) 会員に関する事項

種類	前年度末	当年度末	増減
正会員	41名	41名	-
準会員	0名	0名	-
賛助会員	0名	0名	-
その他*	3名	3名	-
合計	44名	44名	-

(注) その他 名誉会員

(7) 職員に関する事項

(2013年12月31日現在)

職員の数	51名	うち常勤	50名
------	-----	------	-----

(注) 理事兼務者を除き、他の機関・企業からの出向者、他の機関・企業への出向者、休職者を含む。

(8) 役員会等に関する事項

①理事会

開催年月日	種類	出席理事数	出席監事数
2013年1月22日	通常	18名(19名中)	2名(2名中)
2月26日	通常	15名(18名中)	2名(2名中)
3月19日	通常	16名(19名中)	1名(2名中)
4月16日	通常	16名(19名中)	2名(2名中)
5月21日	通常	19名(19名中)	1名(2名中)
6月27日	通常	16名(19名中)	1名(2名中)
7月16日	通常	18名(19名中)	2名(2名中)
8月20日	通常	17名(19名中)	2名(2名中)
9月17日	通常	17名(19名中)	2名(2名中)
10月15日	通常	16名(18名中)	2名(2名中)
11月19日	通常	17名(18名中)	2名(2名中)
12月2日	臨時	15名(17名中)	2名(2名中)
12月17日	通常	15名(17名中)	2名(2名中)

② 総会

開催年月日	出席正会員数
2013年3月13日	37名(41名中)
12月11日	38名(41名中)

(9) 株式保有の概要

社名	保有株数(割合)	取得日	当該法人との関係
(株)Jリーグメディアプロモーション	204株(34%)	1993年4月5日	取締役派遣。映像管理等の委託先
ジェイリーグフォト(株)	90株(15%)	1993年12月30日	取締役派遣。静止画管理等の委託先
(株)ジェイリーグエンタープライズ	27,000株(37.5%)	1995年3月3日	取締役派遣。看板業務等の委託先
(株)日本フットボールヴィレッジ	490株(5%)	1996年4月26日	取締役派遣

(10) 対処すべき課題

1993年のリーグ戦開幕から20周年を節目を迎えた当法人の2013年度の経常収益は11,625百万円(前年度比1,984百万円増*), 経常費用は12,009百万円(前年度比2,183百万円増*)となり、当期経常増減額は▲385百万円(前年度比198百万円減*)となりました。また、2013年度のリーグ戦 年間平均入場者数はJ1が17,226人(前期比340人減)、J2が6,665人(前期比860人増)となり、リーグ戦にヤマザキナビスコカップ、FUJI XEROX SUPER CUP、ACLなどを加えた総入場者数は9,165,092人(前期比410,398人増)と過去最高(2009年 9,571,079人)に次ぐ記録となりました。

*注: 前年度(2012年度)は決算期変更により4月～12月の9カ月決算

こうした状況のもと、当法人は2013年9月、2015シーズンからのJ1リーグ戦大会方式変更を決定しました。新たに採用する「2ステージ制およびスーパーステージ／チャンピオンシップ制(仮称)」に多くのファン・サポーターの注目が集まり、Jリーグがこれまで以上に国民的なコンテンツへと成長することで、地上波テレビ放送での露出増ならびに協賛価値の向上による成長戦略の実現を目指します。

また、当法人は2013年12月17日、株式会社電通と2014年に始まる5年間の「Jリーグ マーケティングパートナー」契約締結に基本合意いたしました。原則として、Jリーグのマーケティングに関わる事業(オフィシャルパートナーセールス等)を同社が独占的に取り扱うことで、マーケティング領域での両社のシナジー効果の最大化を狙います。

一方、海外では、2013年5月にカンボジア・ナショナルリーグと、6月にはシンガポール・Sリーグとパートナーシップ契約を締結しました。これによりアジアのプロサッカーリーグとのパートナーシップ契約締結は5カ国まで広がりました。今後も、アジア各国リーグとの連携を強化し、アジアのプロサッカーリーグの水準向上に寄与してまいります。

さらに当法人は新たに11のクラブをJ3会員として迎え入れ、2014年よりJ3リーグを発足させます。これにより全国のJクラブ数は51クラブとなり、これにJリーグ準加盟クラブ(2014年より「Jリーグ百年構想クラブ」へと呼称変更)を加えた56クラブの活動区域は全国39都道府県にまで広がります。

当法人は、これまでの20年間、プロサッカーリーグを運営する一方で、Jクラブと共にJリーグアカデミーの拡充、育成年代の大会整備などによる選手育成、審判員の養成、地域スポーツ振興支援やホームタウンの活性化などに取り組んでまいりました。今後も、常に変化を先取りし、より多くの人々に愛されるプロスポーツとしてのサッカーと、より多くの皆様に楽しんでいただけるフットボールエンターテイメントを提供し続けてまいります。また、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて、サッカーのみならず日本に

おけるスポーツ全体の価値を高めるために当法人が果たすべき役割は大きいものと認識しています。

2 役員等に関する事項

(1) 理事

(2013年12月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	他法人等の代表状況等
理事長 (チェアマン)	大東 和美	自: 2010年7月20日 至: 2014年3月12日	常勤	(公財)日本サッカー協会副会長
専務理事	中野 幸夫	自: 2009年1月1日 至: 2014年3月12日	常勤	(公財)日本サッカー協会常務理事
理事	大河 正明	自: 2012年5月8日 至: 2014年3月12日	常勤	(公財)日本サッカー協会理事
理事	中西 大介	自: 2012年5月8日 至: 2014年3月12日	常勤	なし
理事	井畠 滋	自: 2012年3月19日 至: 2014年3月12日	非常勤	(株)鹿島アントラーズ・エフ・シー 代表取締役社長
理事	岡野 雅夫	自: 2013年3月13日 至: 2014年3月12日	非常勤	大阪サッカークラブ(株) 代表取締役社長
理事	亀井 文雄	自: 2012年3月19日 至: 2014年3月12日	非常勤	(株)愛媛FC 代表取締役社長
理事	武田 信平	自: 2009年6月16日 至: 2014年3月12日	非常勤	(株)川崎フロンターレ 代表取締役社長
理事	橋本 光夫	自: 2010年7月20日 至: 2014年3月12日	非常勤	浦和レッズダイヤモンズ(株) 代表取締役社長
理事	福島 義広	自: 2010年7月20日 至: 2014年3月12日	非常勤	(株)名古屋グランパスエイト 代表取締役副社長
理事	上西 康文	自: 2012年3月19日 至: 2014年3月12日	非常勤	なし
理事	傍士 銀太	自: 2006年7月21日 至: 2014年3月12日	非常勤	なし
理事	宮 裕	自: 2010年7月20日 至: 2014年3月12日	非常勤	なし
理事	村井 満	自: 2008年7月15日 至: 2014年3月12日	非常勤	RGF Hong Kong Limited 会長
理事	ヨーコ ゼッターランド	自: 2010年7月20日 至: 2014年3月12日	非常勤	(有)オフィスブロンズ 取締役社長
理事	原 博実	自: 2010年7月20日 至: 2014年3月12日	非常勤	(公財)日本サッカー協会 専務理事
理事	上川 徹	自: 2012年8月21日 至: 2014年3月12日	非常勤	(公財)日本サッカー協会理事 (審判委員長)

(2) 監事

(2013年12月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	他法人等の代表状況等
監事	味村 隆司	自: 2012年3月19日 至: 2014年3月12日	非常勤	(株)日本国際映画著作権協会 代表取締役
監事	吉田 修己	自: 2012年3月19日 至: 2014年3月12日	非常勤	なし

(3) 退任した役員等

氏名	退任時の地位	退任日	退任理由
金森 喜久男	理事	2013年1月22日	一身上の都合により辞任
田中 道博	理事	2013年10月15日	一身上の都合により辞任
大塚 唯史	理事	2013年11月19日	一身上の都合により辞任

(4) 事業年度終了後に生じた役員の状況に関する重要な事実

理事長以下理事17名および監事2名は、一身上の都合により2014年1月31日付をもって辞任し、同日開催の第1回 社員総会、および臨時理事会において新たに以下の役員が選任された。新たに選任された以下の役員の任期は、2014年1月31日から2016年3月の定時社員総会終結の時まで。

役職名	氏名	常勤・非常勤	他法人等の代表状況等	
理事長 (チエアマン)	村井 満	常勤	なし	(昇任)
専務理事	中野 幸夫	常勤	(公財)日本サッカー協会常務理事	
常務理事	大河 正明	常勤	(公財)日本サッカー協会理事	(昇任)
常務理事	中西 大介	常勤	なし	(昇任)
理事	井畠 滋	非常勤	(株)鹿島アントラーズ・エフ・シー 代表取締役社長	
理事	岡野 雅夫	非常勤	大阪サッカークラブ(株) 代表取締役社長	
理事	亀井 文雄	非常勤	(株)愛媛FC 代表取締役社長	
理事	木村 正明	非常勤	(株)アジアーノ岡山スポーツクラブ 代表取締役	(新任)
理事	武田 信平	非常勤	(株)川崎フロンターレ 代表取締役社長	
理事	福島 義広	非常勤	(株)名古屋グランパスエイト 代表取締役副社長	
理事	有森 裕子	非常勤	株式会社RIGHTS. 取締役	(新任)
理事	上西 康文	非常勤	なし	(新任)
理事	小宮山 悟	非常勤	なし	(新任)
理事	原田 宗彦	非常勤	なし	(新任)
理事	村松 邦子	非常勤	なし	(新任)
理事	原 博実	非常勤	(公財)日本サッカー協会 専務理事	
理事	上川 徹	非常勤	(公財)日本サッカー協会理事(審判委員長)	
監事	味村 隆司	非常勤	(株)日本国際映画著作権協会 代表取締役	
監事	吉田 修己	非常勤	なし	

事業報告の附属明細書

1. 役員の他の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況

役員の主な他法人等の代表状況等については、事業報告「2 役員等に関する事項」の通り。

尚、理事長以下、業務執行理事に関する重要な他法人の兼職については以下の通り。

区分	氏名	兼職先法人等	兼職の内容	関係
理事長	大東 和美	公益財団法人日本サッカー協会	副会長	上部団体
専務理事	中野 幸夫	公益財団法人日本サッカー協会	常務理事	上部団体
		(株)Jリーグメディアプロモーション	取締役	株式保有・取引先
		(株)日本フットボールヴィレッジ	取締役	株式保有・取引先
		公益財団法人日本サッカー協会	理事	上部団体
理事	大河 正明	(株)ジェイリーグエンタープライズ	取締役	株式保有・取引先
		ジェイリーグフォト(株)	取締役	株式保有・取引先
		(株)Jリーグメディアプロモーション	監査役	株式保有・取引先